

モダニズム期のアメリカ文学におけるケアの契機としての傷つきやすさ

関連キーワード: 近現代英米文学、小説、傷つきやすさ (vulnerability)

研究内容

・20世紀前半以降の英米文学作品を扱い、「傷つきやすさ (vulnerability)」をテーマに研究しています。個人の独立性や自律性に重きを置く理念としては克服すべきものとされてきた「傷つきやすさ」が、近代以降の文学の大きなテーマの一つとなり、他者との関わりや応答という積極的な物語を生み出してきたことについて考察しています。

研究者プロフィール

- ・文学部 英文学科 准教授 井出達郎
- ・近現代英米文学
- ・小説
- ・日本英文学会、日本アメリカ文学会
- ・中山悟視編著『ヒッピー世代の先覚者たち: 対抗文化とアメリカの伝統』(第5章担当)

地域・産学官連携の可能性、事業化のイメージ 他

- ・講座など

研究者への連絡先

- ・産学連携推進センター
Email srcenter@mail.tohoku-gakuin.ac.jp
電話 022-354-8122